

黒潮流軸の概況

黒潮流軸付近の表面水温は28～29 台で、前号より - 1 ～同温となっています。

流軸の位置と水温	今号(8月31日～9月13日)			前号(8月17日～8月30日)		
	起 点	方 向	距 離	水 温	方 向	距 離
奄美大島(曾津高埼)	NW	70海里	29	NW	95海里	29
屋久島(黒崎)	WSW	50海里	28	WSW	70海里	29
種子島(門倉埼)	S	40海里	29	S	50海里	29
都井岬	E	40海里	29	E	30海里	29

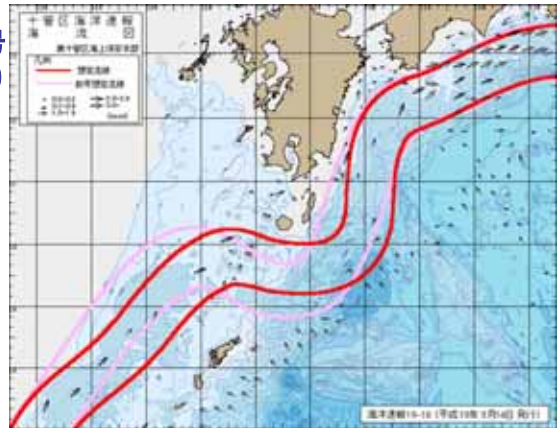
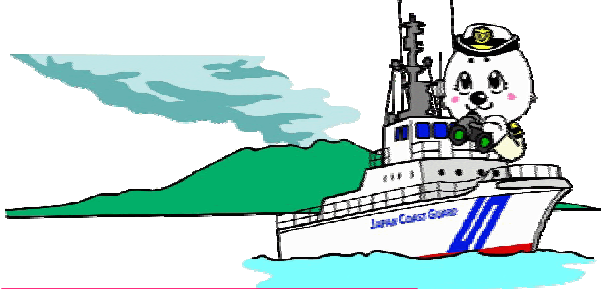
(1海里 = 1,852メートル)

沿岸域の水温

沿岸海域の表面水温は28～30 台で、前号より - 1 ～同温となっています。

海 域	今号(8月31日～9月13日)	前号(8月17日～8月30日)
鹿児島湾	28～30 台	28～30 台
甌島列島～薩南海域	28 台	29～30 台
大隅海峡～種子島・屋久島	28 台	29 台
日向灘沿岸域	27～28 台	27～29 台

十管区海洋速報第19-18号
(流況図+海底地形図)



漂流予測をご存知ですか？

海上で船舶が遭難して、乗組員が海に投げ出された時や、大型タンカーが座礁して、積んでいた油が流れ出した時など、海上保安庁では巡視船、航空機により、人命の救助、油の防除を行います。これらの救助、防除活動のために、測量船、巡視船及び航空機による海の流れの観測から得られた情報を元に、海上を漂う人や船、油がどの方向に流れていくのかを予測しています。

海上での流れの予測は、海水の動きのほか事故発生現場での風も大きな要因となります。また、流れているものが人か船か、或いは油なのかによっても流れていく方向や速度が変わります。これらの様々な要因を数値化し、コンピューターによる漂流予測図を作成して、海上における人命の救助、財産の保護に関わっています。

また、迅速で的確な漂流予測を行うためには、常時、日本近海の時況を把握しておく必要があります。このため、巡視船や測量船からの情報ばかりでなく、人工衛星による水温データや海面高度データを利用したり、海洋短波レーダーによるリアルタイムな海流データなど、様々な情報を活用しています。

海に関する情報に興味のある方は、十管区海洋情報部「海の相談室」をご利用下さい。

URL: <http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN10/>